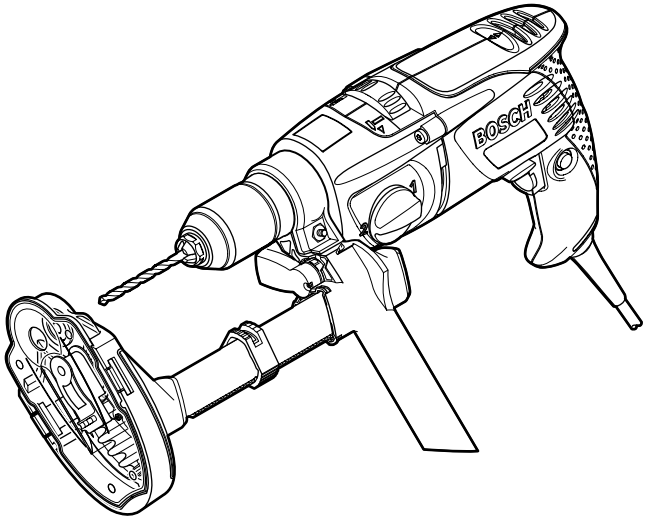
BOSCH

DIY電動工具

キーレス吸じん振動ドリル

PSB 800-2RA

アース不要
の二重絶縁



取扱説明書

このたびは、弊社キーレス吸じん振動ドリルをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。

目　次

安全上のご注意

警告表示の区分 …… 2
電動工具全般についての注意事項 …… 2
キーレス吸じん振動ドリルについての注意事項 …… 7

本製品について

用　途 …… 10
仕　様 …… 10
各部の名称 …… 11
標準付属品 …… 13

使い方

作業前の準備をする …… 14
作業する …… 20
粉じんを取り除く …… 28

困ったときは

故障かな？と思ったら …… 30
修理を依頼するときは …… 31

お手入れと保管

クリーニング …… 32
保　管 …… 32

安全上の注意

◆ 火災、感電、けがなど事故を未然に防ぐため、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください。
◆ ご使用前に、この『安全上のご注意』をすべてよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
◆ お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
◆ 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

警告表示の区分

ご使用上の注意事項は ⚠警告 と ⚠注意 に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。

⚠警告 ◆ **誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。**

⚠注意 ◆ **誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。**

なお、 ⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

電動工具全般についての注意事項

ここでは、電動工具全般の『安全上のご注意』についてご説明します。今回お買い求めいただいたキーレス吸じん振動ドリルには、当てはまらない項目も含まれています。

⚠ 警　告

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。

◆ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。

2. 作業場の周囲状況も考慮してください。

◆ 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、又はぬれた場所で使用しないでください。
◆ 作業場は十分に明るくしてください。
◆ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。

3. 感電に注意してください。

◆ 電動工具を使用中、アースされているものに身体を接触させないようにしてください。
（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）

4. 子供を近づけないでください。

◆ 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
◆ 作業者以外、作業場へ近づけないでください。

5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。

◆ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、又は錠のかかる所に保管してください。

6. 無理して使用しないでください。

◆ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

7. 作業に合った電動工具を使用してください。

◆ 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
◆ 指定された用途以外に使用しないでください。

8. きちんとした服装で作業してください。

◆ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
◆ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
◆ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

9. 保護めがねを使用してください。

◆ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉塵の多い作業では、防じんマスクを併用してください。

10. 防音保護具を着用してください。

◆ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。

11. 集塵装置が接続できるものは接続して使用してください。

◆ 電動工具に集塵機などが接続できる場合には、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。

12. コードを乱暴に扱わないでください。

◆ コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
◆ コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。

13. 加工するものをしっかりと固定してください。

◆ 加工するものを固定するために、クランプや万力を使用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

14. 無理な姿勢で作業をしないでください。

◆ 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

15. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。

- ◆ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- ◆ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ◆ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店又はボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
- ◆ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- ◆ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。

16. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。

- ◆ 使用しない、又は修理する場合。
- ◆ 刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
- ◆ その他危険が予想される場合。

17. 調節キーやレンチなどは、必ず取外してください。

- ◆ 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取り外してあることを確認してください。

18. 不意な始動は避けてください。

- ◆ 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- ◆ プラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

19. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- ◆ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、又はキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

20. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- ◆ 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- ◆ 常識を働かせてください。
- ◆ 疲れている場合は、使用しないでください。

21. 損傷した部品がないか点検してください。

◆ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか、十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。

◆ 可動部分の位置調整及び締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。

◆ 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店又はボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店又はボッシュ電動工具サービスセンターへ修理を依頼してください。

◆ スイッチで始動、及び停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。

22. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

◆ この取扱説明書、及びボッシュ電動工具カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

23. 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。

◆ この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。

◆ 修理は、必ずお買い求めの販売店又はボッシュ電動工具サービスセンターにお申しつけください。

◆ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

キーレス吸じん振動ドリルについての注意事項

電動工具全般の『安全上のご注意』について、前項ではご説明しました。ここでは、キーレス吸じん振動ドリルをお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項についてご説明します。

⚠ 警 告

1. **使用電源は、銘板に表示してある電圧で供給してください。**
   ◆ 表示以外の電圧で使用すると、回転が異常になり、事故の原因になります。

2. **作業する箇所に、電線管や水道管、ガス管など埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。**
   ◆ 埋設物があると、先端工具が触れたときに感電したり、漏電やガス漏れが発生したりして、事故の原因になります。

3. **使用中に振り回されないよう、振動ドリル本体にサイドハンドルを取り付け、本体を確実に保持し作業してください。**
   ◆ 確実に保持しないと、けがの原因になります。

4. **使用中は、先端工具や回転部、切り粉などの排出部に、手や顔などを近づけないでください。**
   ◆ けがの原因になります。

5. **使用中に振動ドリルの調子が悪くなったり、異常音がしたりしたときは、直ちに「メインスイッチ」を切ってください。使用を中止し、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに点検・修理を依頼してください。**
   ◆ そのまま使用していると、事故の原因になります。

6. **誤って落としたり、ぶつけたりしたときは、先端工具や振動ドリル本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。**
   ◆ 破損や亀裂、変形があると、事故の原因になります。

7. 石綿は、人体に有害です。このような成分を含んだ材料を加工するときは、防じん対策をしてください。

8. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。また、電源コードを引っ掛けたりしないでください。
   ◆ 材料や振動ドリル本体などを落としたとき、事故の原因になります。

9. マイクロフィルターユニットを装着した状態で、金属への穴あけをしないでください。
   ◆ 高熱をもった金属の破片によって、発火する危険があります。

⚠ 注 意

1. 先端工具や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
   ◆ 確実でないと外れたりし、けがの原因になります。

2. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
   ◆ 回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。

3. 作業直後の先端工具は高温になっていますので、触れないでください。
   ◆ やけどの原因になります。

4. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
   ◆ 事故の原因になります。

5. コンクリートに穴あけを開始するとき、コンクリートの小片が飛び散ることがあります。
   ◆ 保護めがねを着用してください。

6. 特に、コンクリートに細径の穴をあける際、急に切り粉が勢いよく噴き出すことがあります。

◆ 保護めがねを着用してください。

7. 穴あけ作業など、表示能力内の作業のみにご使用ください。

◆ 表示能力を超える作業をすると、振動ドリル本体に支障をきたすだけでなく、けがの原因になります。

8. 過負荷で回転が止まるような作業は、行わないでください。

◆ 振動ドリル本体に支障をきたすだけでなく、けがの原因になります。

9. マイクロフィルターユニットは、コンクリートや石材、レンガ、タイル、モルタルの穴あけをするときに使用し、木材やプラスチックなどの穴あけには使用しないでください。

◆ フィルターの目詰まりや故障の原因になります。

本製品について

用　途

◆ コンクリートや石材、レンガなどの穴あけ

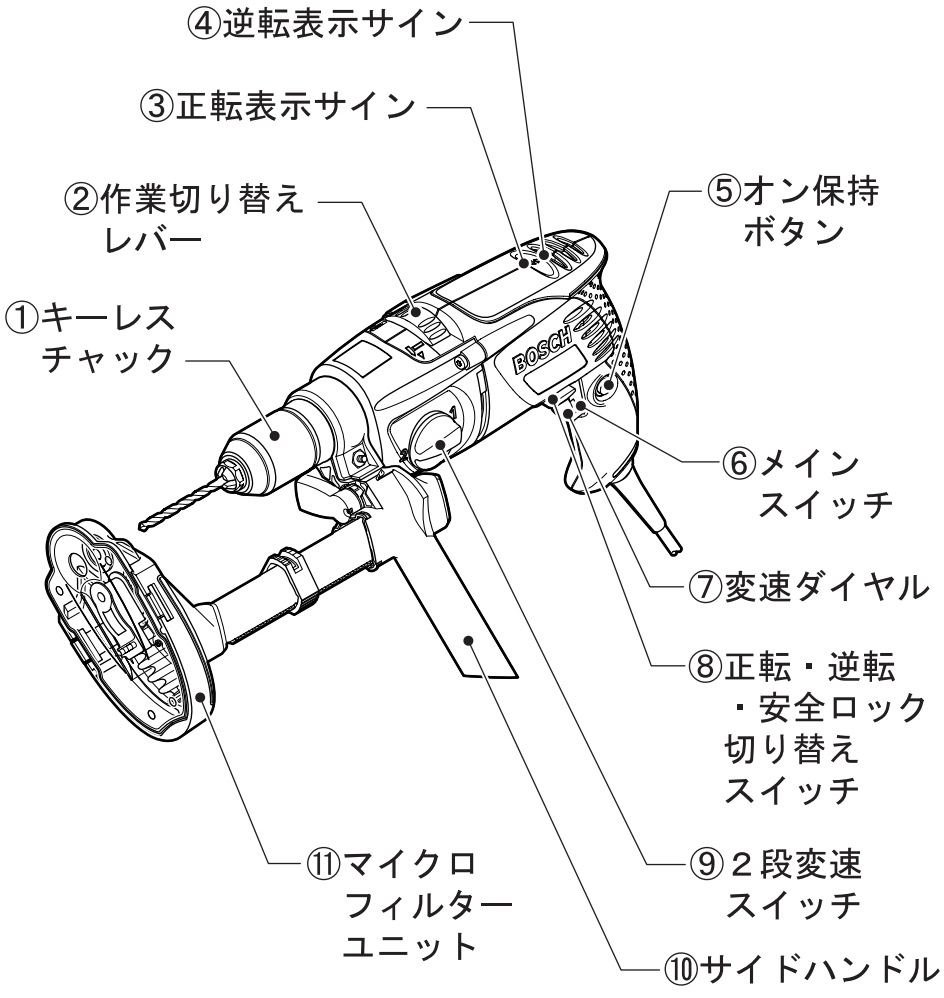
◆ 木材、金属、プラスチックなどの穴あけ

◆ ネジの締め・緩め

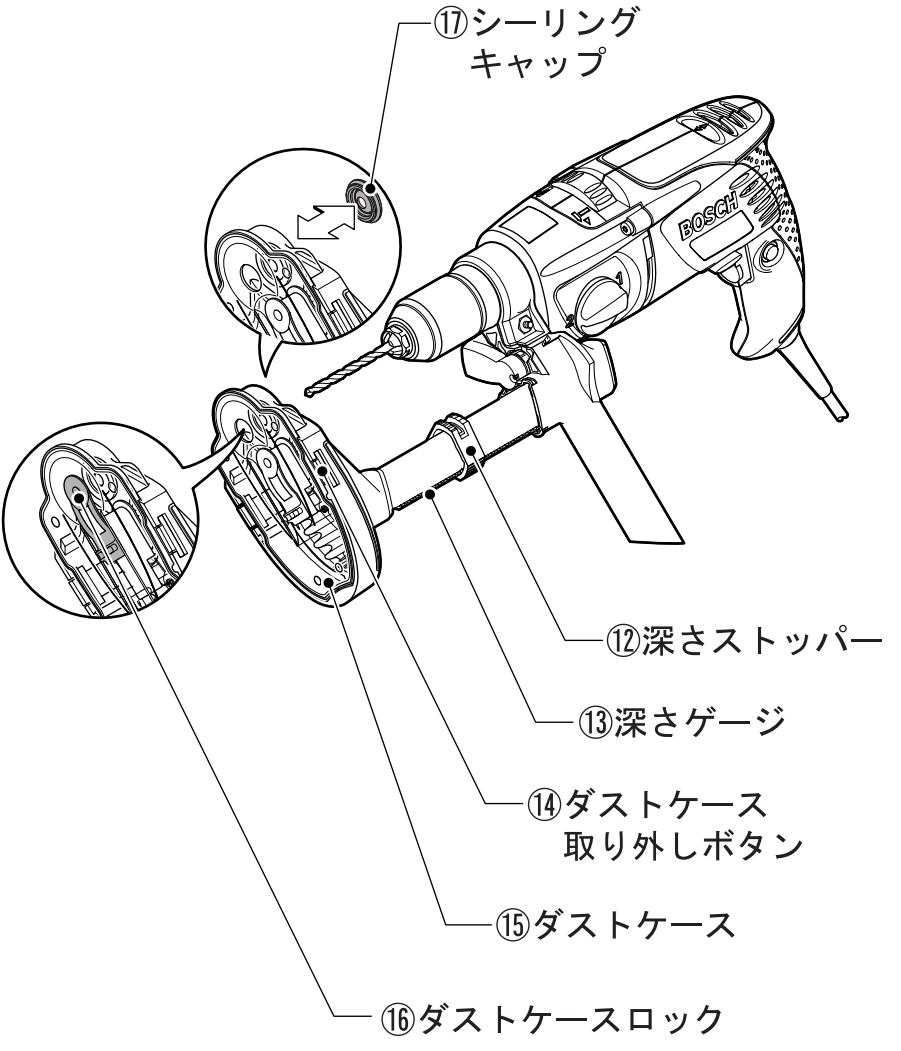
仕　様

型　番	PSB800-2RA
定格電圧	単相 AC100V 50/60Hz
消費電力（入力）	800 W
回転数（無負荷時）	低速 0～1100 min^{-1}（回転／分） 高速 0～2800 min^{-1}（回転／分）
打撃数（無負荷時）	0～47600 min^{-1}（回／分）
チャック把握径	1.5～13 mmϕ
穴あけ能力（最大径）	
コンクリート	20 mmϕ （マイクロフィルターユニット装着時 13 mmϕ）
鉄　工	13 mmϕ
木　工	40 mmϕ
質　量	2.4 kg
正転・逆転機能	有
電子無段変速機能 （スピードコントロール機能）	有

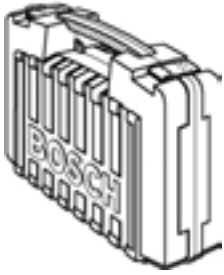
本体


④逆転表示サイン
③正転表示サイン
②作業切り替え
レバー
①キーレス
チャック
⑤オン保持
ボタン
⑥メイン
スイッチ
⑦変速ダイヤル
⑧正転・逆転
・安全ロック
切り替え
スイッチ
⑨２段変速
スイッチ
⑩サイドハンドル
⑪マイクロ
フィルター
ユニット
BOSCH

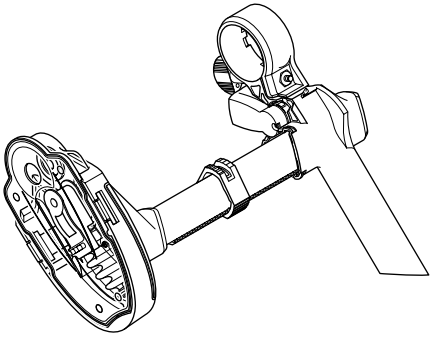
マイクロフィルターユニット



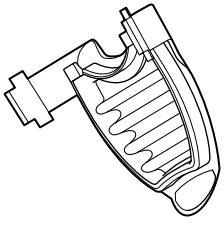
標準付属品



キャリングケース



マイクロフィルターユニット



交換用フィルター

※マイクロフィルターユニットに
装着済み

シーリングキャップ

※マイクロフィルターユニットに
装着済み

◆イラストの形状は、実物と異なる場合があります。

使い方

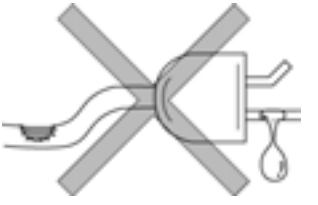
作業前の準備をする

⚠警告

- ◆ 作業前の準備をするときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- ◆ 電源コードや電源プラグが損傷しているときは、直ちに使用を中止してください。お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。

使用電源を点検する

- ● 単相　AC100V（50/60Hz）か？
- ● コンセント不良（ガタ）のため、電源プラグが簡単に抜けないか？
- ● 電源コードが断線していたり、電源プラグが破損していたりしていないか？



マイクロフィルターユニット⑪を取り付ける・取り外す

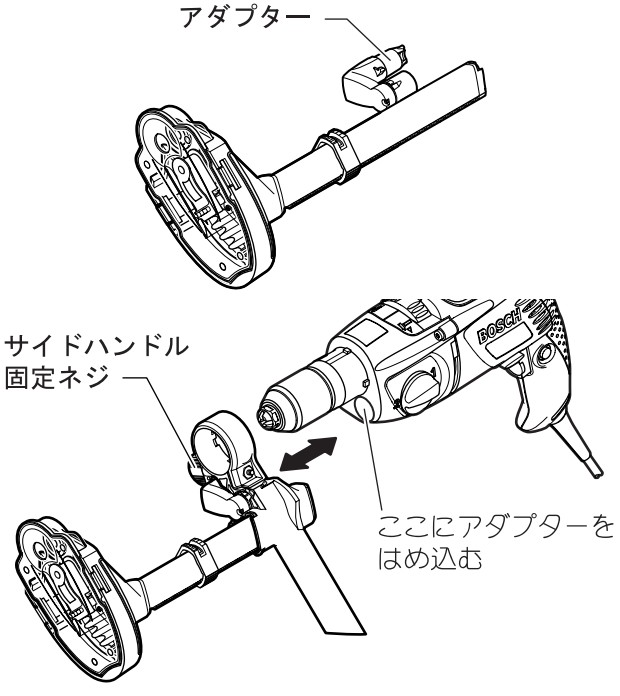
取り付け

1. マイクロフィルターユニット⑪のアダプターの位置を確認します。
   アダプターが左側：サイドハンドル⑩を本体の右側に取り付ける
   アダプターが右側：サイドハンドル⑩を本体の左側に取り付ける

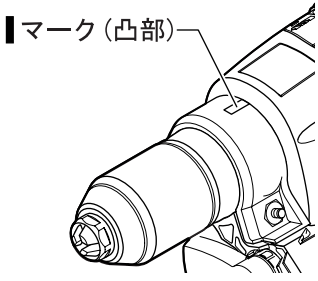
   アダプターの位置を変更したいときは、16 ページ「サイドハンドル⑩からマイクロフィルターユニット⑪を取り外す」、17 ページ「サイドハンドル⑩にマイクロフィルターユニット⑪を取り付ける」を参照してください。
   サイドハンドル⑩は、左右どちら側にも取り付けることができます。

2. サイドハンドル固定ネジを緩めます。

3. サイドハンドル⑩を振動ドリル本体に差し込みます。
マイクロフィルターユニット⑪のアダプターが、振動ドリル本体の穴にはまるように差し込んでください。



サイドハンドル⑩には ▌ マーク（凸部）が 2 個所あります。
サイドハンドル⑩を右側に取り付けるとき：右側の ▌ マークが真上
サイドハンドル⑩を左側に取り付けるとき：左側の ▌ マークが真上



☞ 振動ドリル本体の凸部が、サイドハンドル内側の凹部にしっかりはまるように差し込んでください。

4. サイドハンドル固定ネジを締めます。

取り外し

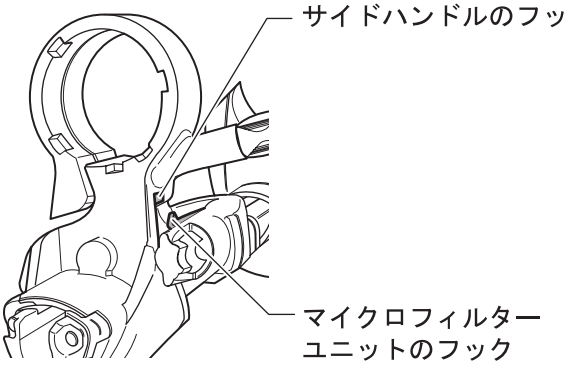
サイドハンドル固定ネジを緩め、本体からサイドハンドル⑩を抜き取ります。

☞ マイクロフィルターユニット⑪のみの取り外しはできません。サイドハンドルごと取り外してください。

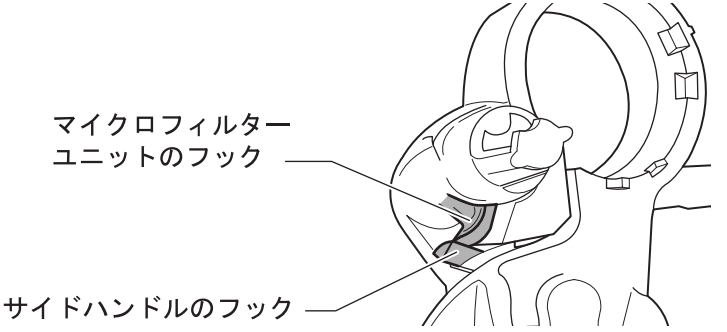
サイドハンドル⑩からマイクロフィルターユニット⑪を取り外す

サイドハンドル⑩のフックからマイクロフィルターユニット⑪のフックを外して、マイクロフィルターユニット⑪を引き抜きます。

サイドハンドル⑩が右側に取り付けられているとき
：アダプターをサイドハンドル締め付け部と反対側（外側）にずらす



サイドハンドル⑩が左側に取り付けられているとき
：アダプターをサイドハンドル締め付け部側にずらす



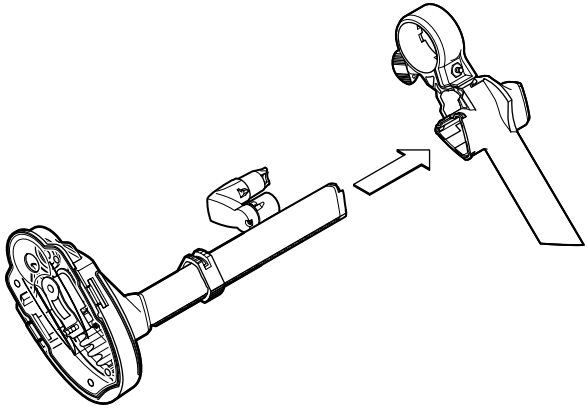
☞ サイドハンドル⑩は、マイクロフィルターユニット⑪を装着しない状態でも使用できます。

サイドハンドル⑩にマイクロフィルターユニット⑪を取り付ける

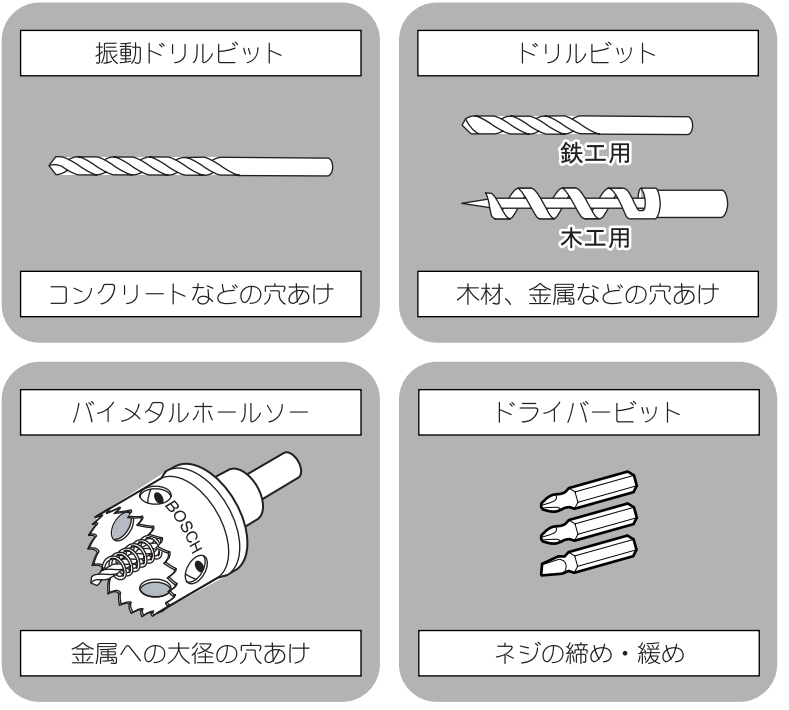
☞ サイドハンドル⑩が振動ドリル本体に装着されている場合は、一度サイドハンドル⑩を振動ドリル本体から取り外して、マイクロフィルターユニット⑪の取り付けを行ってください。

1. マイクロフィルターユニット⑪のアダプターの位置を決めます。
   サイドハンドル⑩を右側に取り付けるとき：アダプターが左側
   サイドハンドル⑩を左側に取り付けるとき：アダプターが右側

2. マイクロフィルターをサイドハンドル⑩に差し込みます。
   マイクロフィルターのアダプターにあるフックがサイドハンドル⑩のフックに掛かるまで差し込んでください。
   サイドハンドル⑩とマイクロフィルターを左右に軽く引いて、引き抜けなければ、正しく取り付けられています。



先端工具を選ぶ



先端工具を取り付ける・取り外す

⚠警告

◆ けがの発生を防ぐため、電源プラグを電源コンセントから抜き、取り付け・取り外し作業をしてください。

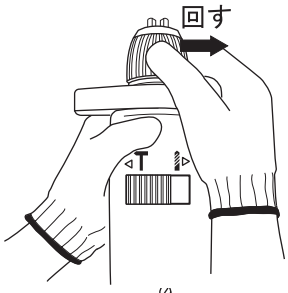
⚠注意

◆ 穴あけ直後の先端工具は高温になります。冷たくなってから、先端工具を取り外してください。

◆ 先端工具は、刃先に触れないように注意して扱ってください。けがの発生を防ぐため、手袋を着用して扱ってください。

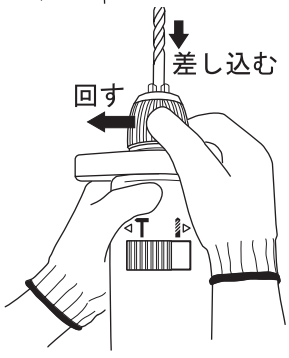
取り付け

1. チャックを正面から見て左方向（反時計回り）に回して緩めます。

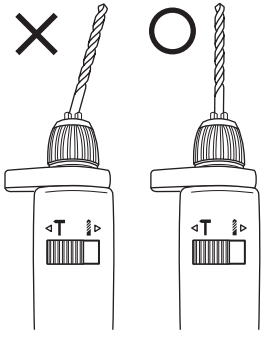


2. 先端工具をチャックに差し込みます。

3. チャックを正面から見て右方向（時計回り）に回して締めます。カリカリと音がしたあと回らなくなるまで、チャックを締めてください。



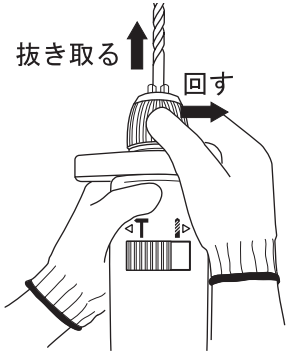
4. チャックのつめが先端工具を均等につかんでいることを確かめます。



取り外し

1. チャックを正面から見て左方向（反時計回り）に回して緩めます。

2. チャックから先端工具を抜き取ります。



作業する

⚠警告

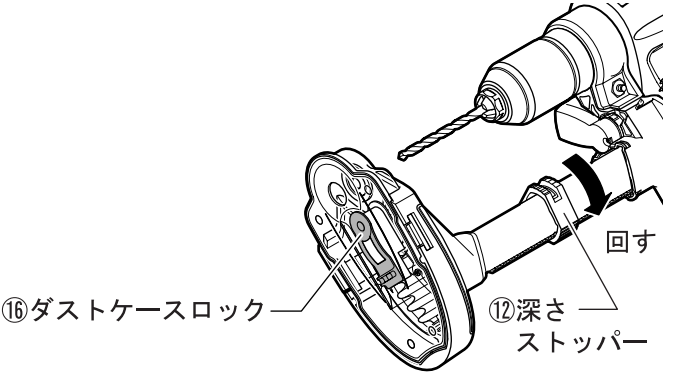
- **◆ 「メインスイッチ⑥」が引き込まれていたり、いっぱいまで引き込まれた（オン保持）状態になっていないことを確かめてから、電源プラグを電源コンセントに差し込んでください。**
- **◆ 振動ドリル使用時に排出される粉じんは、健康に害をもたらす恐れがあります。防じんマスクを着用して作業してください。**

☞ マイクロフィルターユニット⑪を使用するときは、常に最高回転数で作業してください。

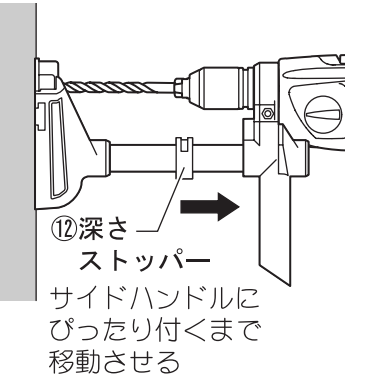
1 深さゲージを調節する（マイクロフィルターユニット装着時）

1. ダストケースロック⑯をさげる。

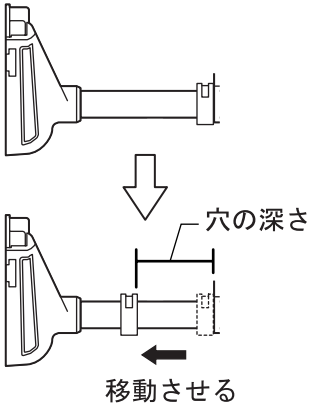
2. 深さストッパー⑫を左方向（矢印の方向）に回して緩めます。

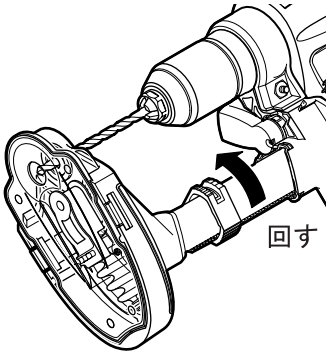


3. ドリルビットとダストケースを材料の表面に当て、深さストッパー⑫をサイドハンドル⑩にぴったり付く位置まで移動させます。



4. あけたい穴の深さ分、深さストッパー⑫をダストケース側へ移動させ、深さストッパー⑫を右方向（矢印の方向）に回して固定します。





② 「作業切り替えレバー②」を T か ⁞ の位置にしっかりと切り替える（次ページ参照）

☞ “カチッ”と音がして、「作業切り替えレバー②」が正しくセットされたことを確認してください。

⚠注意

- ◆ 本体の損傷を防ぐため、モーターの回転が止まった状態で、「作業切り替えレバー②」を切り替えてください。
- ◆ 「メインスイッチ⑥」を引き込んでいるとき、「作業切り替えレバー②」は切り替えないでください。
- ◆ 逆転時に「作業切り替えレバー②」を、T の位置にしないでください。チャックが破損します。

③「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑧」を切り替える

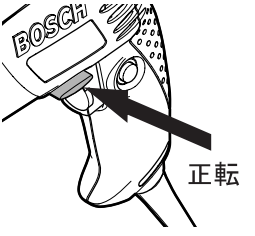
⚠注意

- ◆ 本体の損傷を防ぐため、モーターの回転が止まった状態で、「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑧」を切り替えてください。
- ◆ 「メインスイッチ⑥」を引き込んでいるとき、「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑧」は切り替えないでください。

「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑧」を“正転”にすると、正転表示サイン③が白表示になります。
「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑧」を“逆転”にすると、逆転表示サイン④が白表示になります。

コンクリートや石材、レンガなどの穴あけ

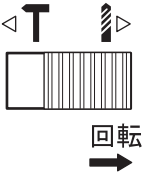
作業切り替えレバー



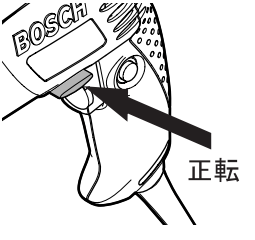
正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ

木材、金属、プラスチックなどの穴あけ

ネジ締め

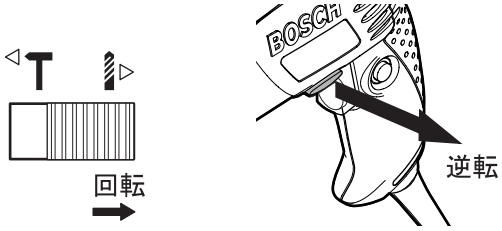


作業切り替えレバー



正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ

ネジの緩め

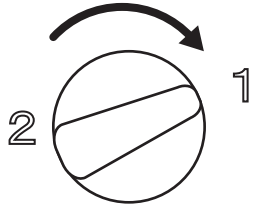


作業切り替えレバー　正転・逆転・安全ロック
切り替えスイッチ

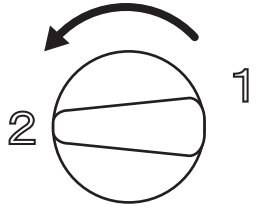
④ 「2段変速スイッチ⑨」を切り替える

「2段変速スイッチ⑨」によって、2段階の速度範囲があらかじめ選択できます。

速度1：遅い回転速度・高トルク
（大径穴あけ・深い穴あけ等に使用）



速度2：速い回転速度・低トルク
（小径穴あけ・小ネジの締め付け等に使用）



☞ 「2段変速スイッチ⑨」は、作業中でも切り替えできます。ただし、負荷をかけているときには切り替えを行わないでください。

☞ 確実に各ポジションに入らないときは、「メインスイッチ⑥」をゆっくり引き、低速で回転させながら切り替えてください。

5 変速ダイヤル⑦で最高速度を設定する

右（時計方向）に回すと、回転数・打撃数が多くなります（高速側）。
左（反時計方向）に回すと、回転数・打撃数が少なくなります（低速側）。

☞ 変速ダイヤル⑦を“低速側”にして長時間作業することは、避けてください。
モーターと連動している冷却ファンの回転数が落ち、冷却効果が下がります。

☞ 試しの穴あけなどをして、最適な回転数・打撃数を求めてください。

☞ 変速ダイヤル⑦を“低速側”にしたときには、回転力（トルク）が弱くなります。
低速で回転力（トルク）が必要な作業はできません。回転力（トルク）が必要な場合は、最高速度に設定してください。

6 電源プラグを電源コンセントに差し込む

7 「メインスイッチ⑥」を操作する

⚠警告

- ◆ 作業中に振り回されないよう、振動ドリル本体にサイドハンドル⑩を取り付けてください。両手で本体のグリップとサイドハンドル⑩をしっかり保持し、作業してください。
- ◆ 作業中は常に、振動ドリル本体の後方に電源コードがくるようにしてください。電源コードが回転部に巻き込まれると事故の原因になります。

⚠注意

- ◆ 作業時、振動ドリル本体を必要以上に強く押しつけると、先端工具を傷めて作業効率が下がったり、本体が故障したりします。
- ◆ 作業時、サイドハンドル⑩を押すのではなく、振動ドリル本体後部（ラバーグリップ）を押すようにしてください。
  サイドハンドル⑩の位置がずれることにより、チャックが破損する恐れがあります。また、振動ドリル本体をしっかりと保持しながら押すことによって正確な穴あけが可能になります。
- ◆ 穴あけ直後の先端工具は高温になります。やけどを負う恐れがありますので、触れないでください。
- ◆ 長いネジを締めるときは、ドライバービットがネジから外れないように注意してください。

☞「メインスイッチ⑥」を引き込む加減で、回転数・打撃数が調節できます。

スイッチの ON/OFF

スイッチ ON ：「メインスイッチ⑥」を引き込みます
スイッチ OFF ：「メインスイッチ⑥」から指を離します

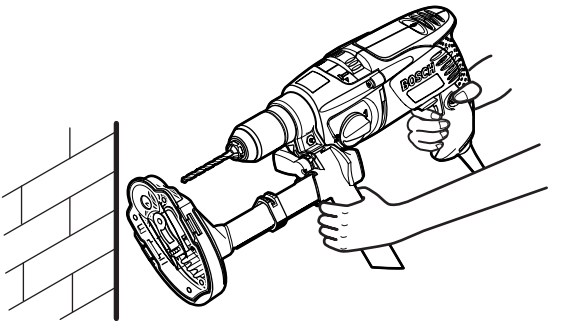
コンクリートや石材、レンガなどの穴あけ

木材、金属、プラスチックなどの穴あけ

1. 先端工具を材料に当てます。

2. 「メインスイッチ⑥」をゆっくり引き込み、穴あけする中心位置を決めます。

3. 穴あけする中心がずれなくなったら、「メインスイッチ⑥」をいっぱいに引き込みます。



☞ 穴あけ完了後は、ドリルビットを回転させたまま穴から引き抜き、「メインスイッチ⑥」から指を離してください。

ネジの締め・緩め

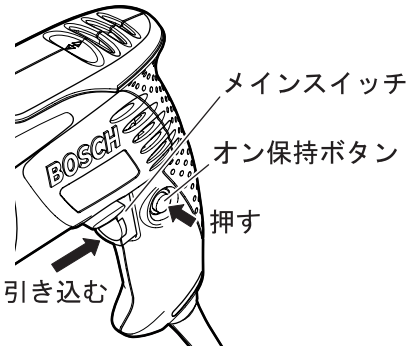
1. 先端工具をネジ頭の溝に合わせます。

2. 「メインスイッチ⑥」を引き込みます。

☞ ネジを緩めるときは、「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑧」を“逆転”に切り替えてください。

連続作業する

- 連続作業するときは、「メインスイッチ⑥」をいっぱいまで引き込み、「オン保持ボタン⑤」を押します。
  「メインスイッチ⑥」から指を離しても、スイッチ ON の状態が維持されます。
- 再度、「メインスイッチ⑥」を引き込むと「オン保持ボタン⑤」は解除されます。



☞ 振動ドリル本体が熱くなったときは、「メインスイッチ⑥」をいっぱいまで引き込み、3 分間ほど空転（無負荷運転）させてモーターを冷やしてください。

使い方

8 作業を終了する

マイクロフィルターユニット⑪を装着しているときは、マイクロフィルターユニット⑪のダストケースロック⑯を上に移動させ、ダストケース⑮の穴をふさいでください。

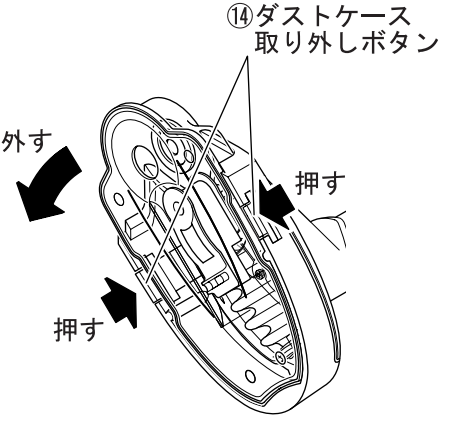
☞ 定期的に交換用フィルターの状態を確認してください。傷ついたり破れたりした交換用フィルターは直ちに交換してください。

☞ シーリングキャップ⑰は消耗品です。特に、大口径のドリルビットで作業した場合、早く消耗します。消耗したシーリングキャップ⑰は交換してください。

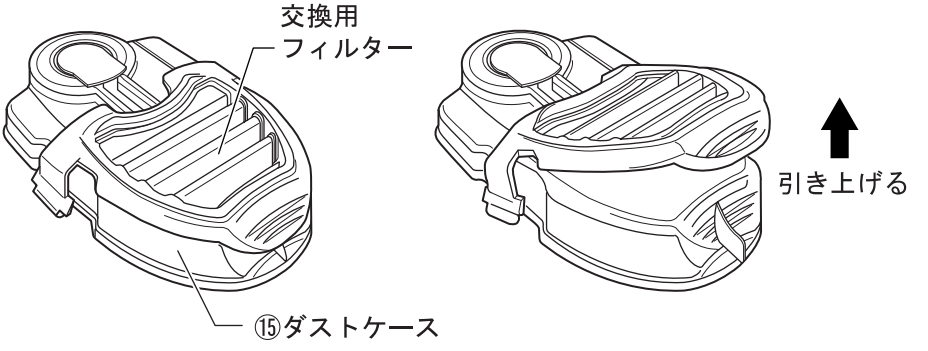
粉じんを取り除く

吸じん力が低下したりダストケース⑮がいっぱいになったときは、ダストケース⑮を清掃してください。

1. 「ダストケース取り外しボタン⑭」を押し、ダストケース⑮を取り外します。



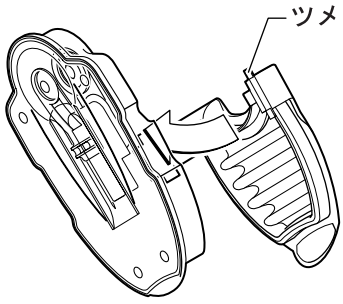
2. 交換用フィルターを取り外します。
   交換用フィルターは下部を引き上げると外れます。



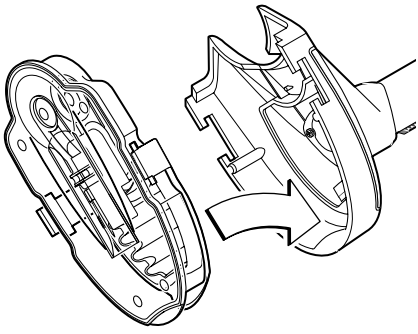
3. ダストケース⑮にたまった粉じんを捨てます。

4. 交換用フィルターのひだの部分を柔らかいブラシなどで清掃します。
   清掃しても粉じんが取り除けない場合は、交換用フィルターを交換してください。
   ☞ 交換用フィルターは、水洗いしないでください。

5. 交換用フィルターをダストケース⑮に取り付けます。
交換用フィルターのツメをダストケース⑮に引っ掛けてから、交換用フィルターの下部を「カチッ」と音がするまで押し込みます。



6. ダストケース⑮をマイクロフィルターユニット⑪に取り付けます。
ダストケース⑮の下部をマイクロフィルターユニット本体に差し込んでから、上部を「カチッ」と音がするまで押し込みます。



☞ 下記の状態になったとき、発火する恐れがあります。一旦使用を中止し、マイクロフィルターユニット⑪から粉じんを取り除くようにしてください。

- 作業中に近くで発生した火花を誤って吸じんした。
- ニスの粉じんと、ポリウレタンなど化学物質の粉じんが混ざってしまった。

困ったときは

故障かな？と思ったら

① 『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめます。
② 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめます。

症　状	原　因	対　処
「メインスイッチ⑥」を引き込んでも、回らない	電源プラグが電源コンセントに差し込まれていない	電源プラグを電源コンセントに差し込む
	カーボンブラシが消耗している	修理を依頼する
	電源コードが断線している	修理を依頼する
「メインスイッチ⑥」が引き込めない	「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑧」が中途半端な位置になっている	“正転”か“逆転”の位置にしっかりと切り替える
回ったまま、止まらない	「メインスイッチ⑥」がいっぱいまで引き込まれた（オン保持）状態になっている	「メインスイッチ⑥」を再度引き込んで指を離し、オン保持状態を解除する
穴あけなどに時間がかる（穴があかない）	先端工具が摩耗している	先端工具を研磨するか、交換する
	使用電源の電圧が低い	100V の電源を使う（延長電工ドラムを使う場合は、コードを全部出しきって使う）
	「変速ダイヤル⑦」が“低速側”になっている	「変速ダイヤル⑦」を“高速側”にする
	「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑧」が“逆転”の位置になっている	「正転・逆転・安全ロック切り替えスイッチ⑧」を“正転”の位置に切り替える
吸じんしない	マイクロフィルターユニット⑪が目詰まりしている	ダストケース⑮を清掃するか、交換用フィルターを交換する

修理を依頼するときは

- ◆ 『故障かな？と思ったら』を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または弊社コールセンターフリーダイヤルまでお尋ねください。
- ◆ 修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
- ◆ この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合（消耗部品を除きます）が発生した場合は、ボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。
  弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。

コールセンターフリーダイヤル 0120-345-762

土・日・祝日を除く、午前 9：00～午後 6：00

※携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161 をご利用ください。
コールセンターフリーダイヤルのご利用はできませんのでご了承ください。

ボッシュ電動工具サービスセンター北海道

〒003-0873
北海道札幌市白石区米里 3 条 2-6-33
TEL 011-875-2388 FAX 011-879-2138

ボッシュ電動工具サービスセンター

〒360-0107
埼玉県大里郡江南町大字千代字東原 39
ゼクセルロジテック内
TEL 048-536-7171 FAX 048-536-7176

ボッシュ電動工具サービスセンター西日本

〒811-0104
福岡県糟屋郡親宮町的野 741-1
TEL 092-963-3486 FAX 092-963-3407

お手入れと保管

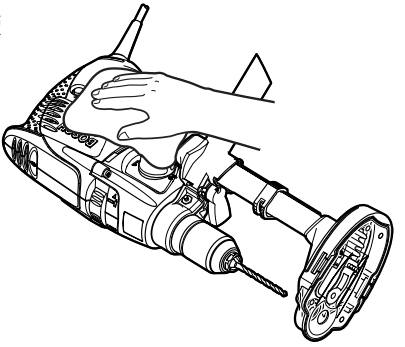
⚠警告 ◆ お手入れのときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

クリーニング

マイクロフィルターユニット⑪や振動ドリル本体の通風口、またチャックなどに付いたゴミ、ホコリを取り除く

乾いた、柔らかい布で本体の汚れをふき取る

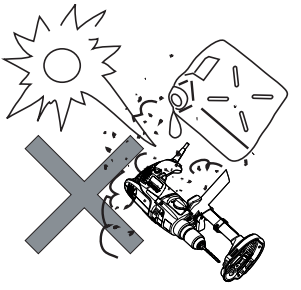
☞ 変色の原因になるベンジンなど、溶剤を使わないでください。



保　管

キーレス吸じん振動ドリルを使った後は、きちんと保管する

- 子供の手が届くところ、または錠が掛からないところに置かない。
- 風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かない。
- 直射日光が当たったり、車中など高温になるところに置かない。
- ガソリンなど、引火性が高いものの近くに置かない。



● 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
● 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
● 製品のカタログ請求、その他ご不明な点がありましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。

BOSCH

ボッシュ株式会社　電動工具事業部

ホームページ：http://www.bosch.co.jp

〒150-8360　東京都渋谷区渋谷3-6-7

コールセンターフリーダイヤル

0120-345-762

（土・日・祝日を除く、午前 9：00～午後 6：00）

＊携帯電話からお掛けのお客様は、TEL. 03-5485-6161
をご利用ください。コールセンターフリーダイヤルの
ご利用はできませんのでご了承ください。

EMA-PSB800-2RA

1 609 929 J58（06. 04）